

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・ 現代の国語	1年	2	現代の国語 (東京書籍)	現代の国語学習課題ノート (東京書籍) 四訂版TOP2500(いっぴな書店) 新訂版最新国語便覧 (浜島書店) グランステップ現代文1 (尚文出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 			
単元・学習内容		到達度目標		
読む (話す・聞く／書く) 「木を見る、森を見る」	・ タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養うことができる。			
読む (話す・聞く) 「統計の信用性とバイアス」	・ 論の展開に注意して評論を読み、社会の中での統計の在り方について考えを深めることができる。			
読む (話す・聞く／書く) 「水の東西」 ◆ 思考への扉 1 —— 文化の東西 ▼ コラム —— 評論の型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深めることができる。 ・ 書かれている内容を理解し、「水の東西」を読み深めることができる。 ・ 評論の型を理解し、評論の読み方を知る。 			
話す・聞く 「本を紹介する」	・ 話の構成や、紹介の仕方を工夫して話すことができる。			
読む (話す・聞く) 「広告の形而上学」	・ 比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考えることができる。			
実用文を読む 広く伝える言葉 1 — ポスター広告	・ 構成を踏まえて同じテーマについての異なるポスター広告を読み比べ、表現上の工夫や意図について理解を深めることができる。			
実用文を読む 広く伝える言葉 2 — 法令文	・ 構成を踏まえて条例の内容を読み取り、ポスター広告と読み比べることを通して、それぞれの表現上の特徴について考えることができる。			
読む (話す・聞く) 「時間と自由の関係について」	・ 時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約することができる。			
読む (話す・聞く／書く) 人工知能はなぜ椅子に座れないのか	・ 人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考えることができる。			
書く 「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」	・ 読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見をまとめることができる。			
読む (話す・聞く) 「生物の多様性とは何か」	・ 生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深めることができる。			
読む (話す・聞く／書く) 「〈私〉時代の民主シー」	・ 〈私〉が尊重される現代社会における民主シーが抱える課題を理解し、視野を広げることができる。			
書く 「論証してレポートを書く」	・ 論点を整理して論証し、読み手の理解が得られるように工夫し、レポートの形式で書くことができる。			
話す・聞く 「探究したことを発信する」	・ 発表の仕方や、話の聞き方を工夫することができる。			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・言語文化	1年	2	精選言語文化 (東京書籍)	精選言語文化学習課題ノート (東京書籍) 体系古典文法 (教研出版) 漢文必携 (桐原書店) 新訂版最新国語便覧(浜島書店) ガラスステップ 古典 1(尚文出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 			
単元・学習内容		到達度目標		
言語活動 随筆「耳覚めの季節」		耳から入ってきた言葉との出会いについて書かれた随筆を、具体例に注意して読み取ることができる。		
古文入門 「児のそら寝」		歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ることができる。文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取ることができる。		
古文入門「大江山の歌」		文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取ることができる。		
漢文入門「訓読の基本」		漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解することができる。		
故事成語「矛盾」「推敲」 寓話「借虎威」「塞翁馬」		故事成語の元の話を読んだり、寓話を読んだりすることを通して、漢文の読解に慣れ親しむことができる。		
随筆「徒然草」 随筆「方丈記」		随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉えることができる。表現の特色に注意しながら、作品の内容を解釈することができる。		
歌物語「伊勢物語」		歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉えることができる。歌の解釈のしかたを理解することができる。		
小説「羅生門」		極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えることができる。		
和歌 「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」		表現の特色に注意しながら、和歌の内容を読み取ることができる。		
言語活動 「短歌を作る」		自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書くことができる。		
詩文「絶句と律詩」		漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむことができる。		
日記「土佐日記」		表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。		
詩歌 「秋の航—俳句抄」 「小景異情」 「一つのメルヘン」		俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。リズムや形式に注意して詩を読み味わい、「ふるさと」に対する作者の心情について考えることができる。幻想的なイメージを味わい、作者の心情について考えることができる。		
軍記物語 「平家物語」		軍記物語特有の表現に注目しながら登場人物の描かれ方を読み取ることができる。		
史話「管鮑之交」「臥薪嘗胆」		話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。		
言語活動 作品を読み比べる 「桜に関する作品を読み比べる」		言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。		
言語活動 古文の広がり 「昔の犬は何と鳴く」		言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。		

シラバス（看護科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・ 歴史総合	2年	2	詳述 歴史総合 (実教出版)	新詳歴史総合 (浜島書店) ベストフィット歴史総合 (実教出版)
科目の概要 と目標	<p>1. 近現代史を中心とする世界と日本の歴史を、諸資料に基づき地理的条件と関連付けながら理解させる。</p> <p>2. 現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培う。</p> <p>3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元・学習内容		到達度目標		
第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	<p>アジア諸帝国の繁栄理由を知る。</p> <p>ヨーロッパ諸国がアジア域内交易に参加した経緯とその影響について理解する。</p> <p>産業革命とその影響、アメリカ独立革命とフランス革命の類似点と相似点を考察する。</p> <p>19世紀のヨーロッパ諸国の動向をアジアとの関わりの中で考察する。</p>			
第3章 アジアの変容と日本の近代化	<p>明治維新とその諸改革の中で、日本「国民」がどのように創出されてきたかを考察する。</p> <p>諸改革がどのような国際情勢の中で生まれたのかを理解する。</p> <p>立憲体制の成立過程を理解する。</p>			
第4章 帝国主義の時代	<p>東アジアの国際関係における日本の動向を理解する。</p> <p>産業革命と教育の普及がもたらしたものを理解する。</p> <p>西欧列強の動きを考察し、アジア・アフリカの動きを理解する。</p>			
第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	<p>第一次世界大戦の前後における国際秩序の変化を理解する。</p> <p>大衆消費社会の成立とその特質を理解する。</p> <p>大正デモクラシーが日本にもたらした影響を理解する。</p> <p>世界恐慌の要因とその影響を考察する。</p> <p>第二次世界大戦の経過と惨禍を学び、戦後の国際関係について理解する。</p>			
第7章 冷戦と脱植民地化	<p>東側、西側陣営とアジア・アフリカ諸国の動向を理解する。</p> <p>占領下の日本における諸改革を学び、戦後の日本社会についての理解を深める。</p> <p>戦後の集団防衛体制の成立とその影響を理解する。</p>			
第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	<p>冷戦の終結と国際情勢について考察する。</p> <p>開発途上国の民主化過程を理解する。</p> <p>めまぐるしく変わる国際社会の中で、日本が世界とどのような関係を築いているのかを理解する。</p> <p>地域紛争やテロ、難民に対する排外主義、人権、自然環境、情報科などの諸問題に対して、どのように向き合っていけばよいかを考える。</p>			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・ 歴史総合	3年	2	詳述 歴史総合 (実教出版)	新詳歴史総合 (浜島書店) 詳述 歴史総合 マイノート (実教出版)
科目の概要 と目標	1. 近現代史を中心とする世界と日本の歴史を、諸資料に基づき地理的条件と関連付けながら理解させる。 2. 現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培う。 3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容		到達度目標		
第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	アジア諸帝国の繁栄理由を知る。 ヨーロッパ諸国がアジア域内交易に参加した経緯とその影響について理解する。 産業革命とその影響、アメリカ独立革命とフランス革命の類似点と相似点を考察する。 19世紀のヨーロッパ諸国の動向をアジアとの関わりの中で考察する。			
第3章 アジアの変容と日本の近代化	明治維新とその諸改革の中で、日本「国民」がどのように創出されてきたかを考察する。 諸改革がどのような国際情勢の中で生まれたのかを理解する。 立憲体制の成立過程を理解する。			
第4章 帝国主義の時代	東アジアの国際関係における日本の動向を理解する。 産業革命と教育の普及がもたらしたものを理解する。 西欧列強の動きを考察し、アジア・アフリカの動きを理解する。			
第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	第一次世界大戦の前後における国際秩序の変化を理解する。 大衆消費社会の成立とその特質を理解する。 大正デモクラシーが日本にもたらした影響を理解する。 世界恐慌の要因とその影響を考察する。 第二次世界大戦の経過と惨禍を学び、戦後の国際関係について理解する。			
第7章 冷戦と脱植民地化	東側、西側陣営とアジア・アフリカ諸国の動向を理解する。 占領下の日本における諸改革を学び、戦後の日本社会についての理解を深める。 戦後の集団防衛体制の成立とその影響を理解する。			
第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	冷戦の終結と国際情勢について考察する。 開発途上国の民主化過程を理解する。 めまぐるしく変わる国際社会の中で、日本が世界とどのような関係を築いているのかを理解する。 地域紛争やテロ、難民に対する排外主義、人権、自然環境、情報科などの諸問題に対して、どのように向き合っていけばよいかを考える。			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・公共	1年	2	高等学校 公共 (第一学習社)	最新図説公共 (浜島書店) 公共ノート (第一学習社)
科目の概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、公共的な空間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
単元・学習内容			到達度目標	
公共の扉 ①公共的な空間をつくる私たち ②公共的な空間における人間としての在り方生き方 ③公共的な空間における基本的人権			<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考えることができる。 ・公共的な空間とは何かについて思考を深め、その空間が多様性にあふれていることを知り、社会的包摂の重要性を理解する。 	
自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (1) ①法の規範の意義と役割 ②契約と消費者の権利・責任 ③司法参加の意義 ④政治参加と公正な世論の形成 ⑤国際社会と国家主権 ⑥日本の安全保障と防衛 ⑦国際社会の変化と日本の役割			<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を理解する。 ・世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。 ・日本国憲法の三つの基本原理について理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解し、平和主義と日本の安全保障について学ぶ。 ・自由権・社会権・新しい人権とは何かを学ぶ。 ・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。 ・裁判所の役割や裁判制度、国会の地位と構成について理解する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について考察する。 ・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について理解する。 ・戦後の国際社会と冷戦終結前後の状況について理解する。 ・国際法の意義と役割について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について理解する。 ・人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ・国際連合の役割と課題について理解する。 ・核兵器の問題について理解する。 ・国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 	
自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (2) ①雇用と労働問題 ②社会の変化と職業観 ③市場経済の機能と限界 ④金融の働き ⑤財政の役割と社会保障 ⑥経済のグローバル化			<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府はどのような活動をしているか理解する。 ・企業の活動、株式会社の特徴について理解する。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について理解する。 ・景気変動について理解する。 ・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを理解する。 ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について理解する。 ・金融機関の役割、日本銀行の役割について理解する。 ・産業構造の変化について理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について理解する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。 ・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 ・円高・円安のしくみについて、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 ・貿易の拡大とそれともなう貿易摩擦について理解する。 ・南北問題の発生した原因について考え、発展途上国のかかえている問題について理解する。 	
持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③生命倫理 ④情報 ⑤国際社会の課題			<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について考える。 ・生命・環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題について考察し、公共的な空間で生きる人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める。 	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・ 数学 I	1 年	4	改訂版 最新 数学 I (数研出版)	改訂版教科書傍用 3 ROUND 数学 I + A (数研出版) 改訂版 チャート式 基礎と演習 数学 I + A (数研出版)
科目の概要 と目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			
単元・学習内容			到達度目標	
第1章 数と式 第1節 数と式 第2節 実数 第3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を含む式の表し方や見方を理解する。 ・公式の導き方や適用の仕方を理解する。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解する。 ・1次不等式について理解を深め、それらが活用できる。 			
第2章 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の意味や表し方、包含関係について理解する。 ・集合の包含関係と関連づけて命題を理解する。 			
第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識する。 ・平方完成やグラフの平行移動に着目することにより、いろいろな2次関数のグラフがかけられる。 ・2次関数のグラフを利用することにより、基本的な最大最小問題を解くことができる。 ・与えられた条件から2次関数を決定することができる。 ・グラフを利用して2次不等式を解くことができる。 			
第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 正弦定理・余弦定理	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形における三角比の意味を理解する。 ・鈍角まで拡張された三角比の基本的な性質について理解する。 ・正弦定理、余弦定理の図形的な意味を理解し、それらを利用して、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ・三角比の考えを具体的な事象の考察に活用できる。 			
第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・四分位偏差、分散、標準偏差などの意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握できる。 ・散布図や相関係数の意味を理解する。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する 			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 物理基礎	2年	2	改訂版 物理基礎 (数研出版)	プロGRESS物理基礎 (数研出版)
科目の概要 と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
物体の運動とエネルギー 運動の表し方			<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。物体が直線運動する場合の加速度を理解する。 	
さまざまな力とのはたらき			<ul style="list-style-type: none"> 物体に働く様々な力について理解し、それらのつり合いについて理解する。 運動の三法則を理解する。 	
力学的エネルギー			<ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーについて理解し、仕事と力学的エネルギーの関係を理解する。 	
さまざまな物理現象と エネルギー利用			<ul style="list-style-type: none"> 熱運動の視点をもつこと。熱の移動および熱と仕事の変換について理解する。 	
熱				
波			<ul style="list-style-type: none"> 波の性質を理解する。音波（弦の振動を含む）の性質を理解する。 	
電気			<ul style="list-style-type: none"> 物質によって抵抗率が異なることを理解する。交流の発生、送電および利用について、基本的な仕組みを理解する。 	
エネルギーとその利用			<ul style="list-style-type: none"> 水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用について、物理学的な視点から理解する。 	
物理学が拓く世界			<ul style="list-style-type: none"> 物理基礎で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。 	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 化学基礎	1年	2	化学基礎 (実教出版)	ベストフィット化学基礎 (実教出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子とそれが構成する物質、および、物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解できるようにする。 物質についての基本的な粒子概念、原理、法則などを、身近な物質や現象を通して理解し生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。 			
単元・学習内容			到達度目標	
物質の構成			物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲をもつ。	
物質の構成粒子 原子 イオン 周期表			物質が原子、イオン、分子から構成されていること、構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	
粒子の結合 イオン結合 共有結合 金属結合			<p>イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合及びイオン結合からなる物質の性質を理解する。</p> <p>共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。</p> <p>金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。</p>	
物質量と化学反応式 原子量と分子量・式量・物質量 溶液の濃度、化学反応式 基本法則に関連した化学史			<p>原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項、物質量と溶液の濃度の関係を理解する。</p> <p>化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</p>	
酸と塩基の反応 酸と塩基 水素イオン濃度と pH 中和反応と塩と中和滴定			<p>水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係及びpHについて理解する。</p> <p>酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</p> <p>中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。</p>	
酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身の回りの酸化還元反応			<p>酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。</p> <p>酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。</p> <p>酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。</p>	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 生物基礎	2年	2	改訂版 高等学校 生物基礎 (数研出版)	リードLight ノート生物基礎 (数研出版) セミナー生物基礎 (第一学習社) スクエア最新図説生物 (第一学習社)
科目の概要と 目標	生物や環境における事物・現象に関わり、科学的な見方・考え方を身につける。 見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。 生物の構造やそのはたらきに関する基本的な構造やしきみについて理解を深め、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度を養う。			
単元・学習内容		到達度目標		
序章. 生物基礎を学ぶにあたって		学習を進める探究のプロセスについて理解する。 顕微鏡の使い方を習得する。		
1-1. 生物の多様性と共通性		生物は多様でありながら、共通性をもっていることを理解する。生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。		
1-2. エネルギーと代謝		生命活動にはエネルギーが必要であり、そのエネルギーはATPの形で供給されることを理解する。		
1-3. 呼吸と光合成		呼吸や光合成の過程でATPが合成されることと、酵素によって生体内で化学反応が進行することを理解する。		
2-1. 遺伝情報とDNA		DNAは二重らせん構造をしていることを理解する。遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。		
2-2. 遺伝情報の複製と分配		DNAの複製のしくみを理解する。細胞周期の進行に伴って、DNAが正確に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。		
2-3. 遺伝情報の発現		タンパク質のアミノ酸配列は、DNAの塩基配列によって決まることを理解する。 同一な遺伝子をもつ細胞でも、発現している遺伝子が異なることを理解する。		
3-1. 体内での情報伝達と調節		自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態の調節が行われることを理解する。		
3-2. 体内環境の維持のしくみ		ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。		
3-3. 免疫のはたらき		免疫と病気の関係や、免疫が医療に应用されていることについて理解する。		
4-1. 植生と遷移		植生の成りたちと、植生が時間の経過とともに移り変わっていくことを理解する。		
4-2. 植生の分布とバイオーム		気候条件により、世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。		
4-3. 生態系と生物の多様性		生態系の成りたちと、生物の種多様性の維持について理解する。 人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。生態系の保全の重要性について理解する。		
4-4. 生態系のバランスと保全				

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・ 体育	1年	2	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)	アクティブ・スポーツ2026 (大修館)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解する。 ・各スポーツのルールを理解し、ゲームを展開できるようにする。 ・健康・安全に留意し、豊かなスポーツライフを実現できるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 体づくり運動 スポーツテスト 陸上競技			<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 ・体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 ・自らの体力を知り、体づくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）に主体的に取り組むことができる。 ・走、跳、投の技術を高める。 	
選択 球技 (ゴール型) ハンドボール バスケットボール (ネット型) テニス バレーボール バドミントン (ベースボール型) ソフトボール 武道 柔道 剣道 ダンス			<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 ・技を高め勝敗の楽しさを味わいながら試合ができる。 ・踊りを通して楽しさや喜びを味わい、発表できる。 	
体育理論 スポーツの発祥と発展			<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解する。 	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・ 体育	2年	2	現代高等保健体育 (大修館)	アクティブ・スポーツ2025 (大修館)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解する。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開していく中で、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。 ・健康・安全に留意し、豊かなスポーツライフを実現できるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 体づくり運動 スポーツテスト 陸上競技			<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 ・体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 ・自らの体力を知り、体づくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）に主体的に取り組むことができる。 ・走、跳、投の技能を高める。 	
選択 球技 (ゴール型) ハンドボール サッカー バスケットボール (ネット型) テニス バレーボール バドミントン (ベースボール型) ソフトボール 武道 柔道 剣道 ダンス			<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 ・技を高め勝敗の楽しさを味わいながら試合ができる。 ・踊りを通して楽しさや喜びを味わい、発表できる。 	
体育理論 運動・スポーツの学び方			<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの効果的な学び方を理解できる。 	

シラバス（看護科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・ 体育	3年	3	現代高等保健体育 (大修館)	アクティブ・スポーツ2024 (大修館)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようにする。 ・各スポーツの基礎運動を理解する。 ・各スポーツのルールを理解しゲームを展開していく中で、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。 ・健康・安全に留意し、生涯にわたってスポーツライフを継続できるようにする。 			
単元・学習内容			到達度目標	
集団行動 体づくり運動 スポーツテスト 陸上競技			<ul style="list-style-type: none"> ・集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 ・体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 ・自らの体力を知り、体づくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）ができる。 ・走、跳、投の技能を高める。 	
選択 球技 （ゴール型） ハンドボール サッカー バスケットボール （ネット型） テニス バレーボール バドミントン 卓球 （ベースボール型） ソフトボール			<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 	
体育理論 豊かなスポーツライフの設計			<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツと豊かにかかわるためのスポーツライフの設計のしかたについて理解する。 	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽 I	1年	2	改訂版 ON! 1 (音楽之友社)	高校生のための音楽ノート 【改訂版】(カワイ出版)
科目の概要と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する			
単元・学習内容	到達度目標			
歌唱 ・発声練習 ・「校歌」 ・「翼をください」 ・クラス合唱曲 ・カンツォーネ ・「Caro mio ben」 ・「野ばら」 (シューベルト / ウェルナー)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声の響かせ方に興味をもち歌唱活動に主体的に取り組んでいる。 ・詩の内容や鼻濁音の歌い方をとらえイメージをもって歌っている。 ・旋律や対旋律の特徴、自身の声域を考えて歌唱パートを選び、二部合唱や三部合唱の楽しさを味わっている。 ・イタリア語の特徴や歌い方を理解し、独唱にふさわしい表現を工夫して歌おうとしている。 ・2つの「野ばら」について学び、それぞれの作品の雰囲気やドイツ語の語感を味わって歌っている。 			
器楽 ・リコーダー ・ギター ・箏	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー奏法の特徴を理解し、少人数グループでのアンサンブルに取り組み、お互いに発表し合うことができる。 ・ギターの扱い方やTAB譜の見方を理解し、メロディーや伴奏の弾き方の基礎を身に付けることができる。 ・箏の奏法や縦譜の文化にふれ和楽器の響きや余韻の変化を味わう。 			
楽典 ・楽譜の仕組み ・拍子とリズム ・音楽用語、記号 ・コードネーム	<ul style="list-style-type: none"> ・五線譜の仕組みや記譜の方法を理解する。 ・拍子やリズム、記号の意味を学び、その効果や働きを理解する。 ・三和音や7thコードの表記と構成音を理解する。 			
鑑賞 ・オーケストラの楽器 ・「動物の謝肉祭」 ・オペラ「椿姫」 ・交響曲「第九」 ・西洋音楽史 ・諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や特徴、音楽的效果に興味をもち鑑賞に取り組む。 ・登場キャラクターがどのように音楽で表現されているかをグループで話し合うことができる。 ・オペラならではの総合芸術としての表現を感受しようとしている。 ・音楽に込められた作曲家の思いについて考察する。 ・西洋音楽史の流れや変遷を学びながら、各時代の特徴や代表的な作曲家の作品にふれ、クラシック音楽の味わい方を学ぶ。 ・さまざまな国や地域の音楽に触れ、音楽的視野を広げる。 			
創作 ・編曲や作曲	<ul style="list-style-type: none"> ・創作や編曲をする楽しさを知り、イメージをもって創作している。 ・音楽を形作っている要素の理解を深める。 			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	1年	2	新高校生の美術1 (出版社: 日本文教出版)	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現・鑑賞に必要な知識や技能を習得することができる。 ・習得した知識や技能を活かし、自ら工夫することにより表現や鑑賞に取り組むことができる。 ・表現・鑑賞に主体的に取り組み、自分なりの考え方や表現をすることができる。 			
単元・学習内容	到達度目標			
・油彩 静物画	<p><表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静物デッサンから各自の制作の意図を決め、構図を考えながらモチーフの下絵を描くことができる。 ・単色で描き全体のイメージを把握する。細部にこだわらず作品全体を意識する。 ・混色の面白さを理解し、たくさんの色彩を用いた豊かな表現を意識する。 ・モチーフ個々の美しさや全体の調和を考え描きこむことができる。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の各項目に関する感想を記入すると共に、友達 작품을鑑賞し、制作作品について話し合ったり発表したりすることができる。 			
・デザイン 文字とイメージ	<p><表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朝体の書き方の要素をすべて含む「永」の文字を練習し、はらいや跳ね等の基本形を学ぶ。 ・表現したい自分の文字を選ぶため、アイデアスケッチをすることができる。 ・文字から受けるイメージを表現するため、形や色調を考え構成する。 ・ポスターカラーをむらなく均一に塗る注意をし、色彩構成する。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の各項目に関する感想を記入すると共に、友達作品を鑑賞し、制作作品について話し合ったり発表したりすることができる。 			
・デザイン コンピュータグラフィック 不思議な世界	<p><表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の写真を用い、「フォトショップ」の使用法について学び、操作を体験する。 ・著作権に注意しながら、インターネットより画像を収集し、フォトコラージュ作品を制作することができる。 ・構成を考え、切り抜きツール、色調補正ツールなどを用い、その効果を生かして作品にまとめることができる。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作に関する感想をまとめると共に、友達作品も鑑賞し、自己の作品について発表することができる。 			
・油彩 人物画 自画像	<p><表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・描きたい角度や表現したい表情を考え、自分らしさが表現できるようスケッチ (下描き) する。 ・スケッチを参考にし、構図を考えてキャンバスに下描きすることができる。 ・単色で全体のイメージを把握する。細部にこだわらず作品全体を意識する。 ・混色の面白さを理解し、三要素を活用した豊かな表現に取り組むことができる。 ・立体感を感じさせるために遠近法や面取りの効果について考える。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を記入すると共に、友達作品を鑑賞し、制作作品について個々に発表する。 			

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道 I	1年	2	新編 書道 I (大修館書店)	なし
科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを旨とする。			
単元・学習内容		到達度目標		
漢字の書 ・漢字の成立 ・楷書の古典臨書 「孔子廟堂碑」「九成宮醜泉銘」 「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」		<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成立や五書体について理解することができる。 楷書の基本的な運筆・用筆の技能を身に付けることができる。 古典の書体や書風を意識しながら、臨書の半紙作品を仕上げることができる。 		
漢字の書 ・行書の古典臨書 「蘭亭序」「風信帖」 ・隷書や草書の古典臨書 「曹全碑」「真草千字文」 ・1～4字の漢字創作作品の制作		<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な運筆・用筆の技能を身に付けることができる。 古典の書体や書風を意識しながら、臨書の半紙作品を仕上げることができる。 さまざまな書体で書かれた漢字の古典を鑑賞し、それぞれの古典のよさや美しさを味わい、その表現方法について考えることができる。 古典臨書の活動を生かして、自分の書きたい漢字や言葉について表現方法を工夫しながら、創作作品を仕上げることができる。 		
篆刻 ・姓名印の制作		<ul style="list-style-type: none"> 篆刻作品を鑑賞し、よさや美しさを味わい、自分の作品に生かそうとすることができる。 篆書の特徴や書作品における印の役割について理解し、姓名印の印稿を作ることができる。 		
仮名の書 ・仮名の古筆臨書「蓬萊切」 ・いろは歌の練習		<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立や仮名の字源について理解することができる。 仮名の名筆を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、線質や字形の特徴について理解したりすることができる。 		
仮名の書 ・散らし書き作品の制作		<ul style="list-style-type: none"> 仮名の名筆を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、線質や字形の特徴について理解したりすることができる。 名筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付け、散らし書きの作品を制作することができる。 		
漢字仮名交じりの書 ・名筆や現代の作品の鑑賞 ・15字程度の漢字仮名交じり書作品の制作		<ul style="list-style-type: none"> 漢字や仮名の書の学習を生かし、用具用材、運筆・用筆、紙面構成などの違いによる表現効果について考えることができる。 名筆や現代の書作品を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、感想をまとめたりすることができる。 15字程度の漢字仮名交じりの文や詩などを選び、その表現方法について工夫した草稿を考えたり、納得のいく作品になるように練習に取り組んだりすることができる。 自分で選んだ言葉について表現方法や紙面構成等を工夫しながら、作品を仕上げることができる。 		

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
外国語・英語 コミュニケーション I	1年	4	Vivid English Communication I NEW EDITION (第一学習社)	Vivid English Communication I NEW EDITION Workbook(第一学習社)
科目の概要 と目標	さまざまなテーマの英文を題材にして、「読む」「聞く」「書く」「話す」の総合的な英語力を養うとともに、主体的・対話的で深い学びを通して、英語によるコミュニケーション能力を育成する。			
単元・学習内容		到達度目標		
Lesson 1 The Symbol of a New Era		<ul style="list-style-type: none"> ・新紙幣に描かれている人物についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、イギリス紙幣についての説明を理解し、歴史上の偉人の生涯について発表することができる。 		
Lesson 2 I Was Drinking Chocolate!		<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの歴史についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 3 Welcome to the World of Hospital Art		<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタルアートの役割についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 4 Esports' Time Has Arrived		<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツの特徴についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ゲームキャラクターの紹介を理解し、創作したキャラクターについて伝え合うことができる。 		
Lesson 5 Go Sustainable!		<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルな取り組みについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 6 In this Corner of the World		<ul style="list-style-type: none"> ・『この世界の片隅に』の特徴についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?		<ul style="list-style-type: none"> ・24時間営業店舗のメリット、デメリットや歴史についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence		<ul style="list-style-type: none"> ・AIの特徴や活用事例についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		
Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!		<ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 		

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭科・ 家庭基礎	1年	2	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	なし
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けようとする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 			
単元・学習内容			到達度目標	
家族社会との共生 第1章 生涯を見通す			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの特徴を理解し、自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。 	
第2章 人生をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・変化する家族・家庭について学習し、私たちもその家族・地域・社会の一員であるという自覚を持つことができるようにする。 	
第3章 子どもと共に育つ			<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。 ・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につける。 ・子どもを生み育てることの意義について考えるとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。 	
第4章 超高齢社会を共に生きる			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、高齢社会への理解を深め、高齢期の課題について理解する。 	
第5章 共に生き、共に支える			<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解し、将来に向けた課題に気づく。 	
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動			<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ・一人で取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。 	
生活の自立 第6章 食生活をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する。 	
第7章 衣生活をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集ができる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫する。 	
第8章 住生活をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた住生活の特徴、機能、快適性、防災などの安全や環境に配慮した住居生活や住環境を工夫する。 	
第9章 経済生活を営む			<ul style="list-style-type: none"> ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解する。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察する。 	
第10章 持続可能な生活を営む			<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 	
生活の創造 第11章 これからの生活を創造する			<ul style="list-style-type: none"> ・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・ 基礎看護 (看護概論)	1年	1	基礎看護 (実教出版)	看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院) パワーアップ問題演習基礎看護学 (サイオ出版)
科目の概要と目標	看護の意義と保健医療福祉における看護の役割を理解させると共に 看護に関する知識と技術を習得させ、基礎的能力を養う。			
単元・学習内容			到達度目標	
第1章 看護の本質 第1節 看護の意義 第2節 看護の役割と機能 第5節 看護における倫理			看護は、豊かな人間愛と職業倫理並びに科学的な知識に基づいて、人々が健康を保持・増進・回復し、あるいは安らかな死を迎えることができるよう援助する専門職であることを理解する。 看護の起源と専門職としての看護の歴史について学習し、現代の看護をより深く理解し、看護の向上に寄与する態度を身につける。	
第1章 看護の本質 第3節 看護の対象			看護の対象は、身体的・精神的・社会的側面をもつ統一体としての人間であり、看護を行う場合には、これらの各側面を総合的に把握する必要があることを理解する。 人間が生活している家庭、地域、学校、職場などの様々な場において看護活動が行われていることや、それらの看護活動の特徴を学習させることにより、看護の役割を理解する。	
第1章 看護の本質 第4節 協働する専門職			保健・医療・福祉の看護活動の行われる場における看護職間や他部門及び他の医療関係職種との人間関係のあり方や連携の重要性について学習させることにより、看護組織・看護体制について理解する。	
第3章 日常生活の援助 第1節 日常生活の理解 第4節 排泄の援助 第6節 休息と睡眠			日常生活が人の健康や成長・発達に大きく関わりを持つことについて理解する。 排泄や睡眠に関する基礎的知識を理解させるとともに、排泄障害や不眠への対応や援助に関する知識を習得する。	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・基礎看護 (基礎看護実習)	1年	2	基礎看護 (実教出版)	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院) パワーアップ問題演習基礎看護学 (教材出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護実習における基礎的項目の知識と技術を身につけさせる。 ・実習する経験を通して看護観を育み、問題解決の能力を養う。 ・(臨床)看護を行うために必要な能力と態度を養う。 			
単元・学習内容			到達度目標	
第3章 日常生活の援助 第2節 環境調整 第3 病床および周囲の生活環境の調整 第5節 活動・運動 第1 姿勢と体位 第2 安楽な体位と看護者の役割 第3 移動の援助と看護者の役割			ベッドメイキング、リネン交換、体位変換、歩行、移動、移送介助についての基礎的な知識と技術を習得し、活用できるようにする。	
第3章 日常生活の援助 第3節 食事と栄養 第6 食事介助の実際 第7節 身体の清潔 第2 身体の清潔と援助 第8節 衣生活 第3 寝衣交換			配膳、食事介助についての基礎的な知識と技術を習得し、活用できるようにする。 身体の清潔援助として清拭、部分浴、洗髪・整容、口腔ケア、沐浴及び、寝衣交換の基礎的な知識と技術を習得し、活用できるようにする。	
第2章 看護の共通技術 第2節 感染予防 第2 感染を防止する方法 第3節 安全管理 第4節 フィジカルアセスメント 第3 身体計測と身体機能検査 第4章 診療に伴う援助 第1節 呼吸・循環・体温調整 第2 体温調整の方法 第5節 救急救命処置 第1 救急救命処置の意義と看護者の役割			安全を確保することは看護者にとって最も重要であり、正しい知識と基礎・基本に従った技術が医療事故を防ぐことを理解する。 衛生的手洗い、身体計測の基礎的な知識と技術を習得し、活用できるようにする。 巻法、包帯法など診療に伴う援助に関する基礎的な知識と技術を習得し、活用できるようにする。	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・ 基礎看護 (基礎看護実習)	2年	4	基礎看護 (実教出版)	看護学概論・基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院) フィジカルアセスメントガイドブック (医学書院) パワーアップ 問題演習基礎看護学 (サイオ出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 基礎看護実習における基礎的項目の知識と技術を身につけさせる。 実習する経験を通して看護観を育み、問題解決の能力を養う。 (臨床) 看護を行うために必要な能力と態度を養う。 			
単元・学習内容			到達度目標	
第2章 看護の共通技術 第4節 フィジカルアセスメント <ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン、血圧測定 第2節 感染予防 <ul style="list-style-type: none"> 感染予防の必要性 (講義) 感染を防止する方法 第3章 日常生活と看護 第4節 排泄の援助 <ul style="list-style-type: none"> 便尿器のあて方、オムツ交換 摘便、陰部洗浄、浣腸 導尿、留置カテーテル 			生体機能の観察方法としてのバイタルサイン、血圧測定の目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。 感染を防止する無菌操作の目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。 排泄に関する基礎的知識を理解すると共に、排泄や排泄障害に対する援助に関する目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。	
第3章 日常生活と援助 第3節 食事と栄養 <ul style="list-style-type: none"> 経管栄養 第2章 看護の共通技術 第4節 フィジカルアセスメント <ul style="list-style-type: none"> フィジカルイグザミネーションの基本手技 第4章 診療に伴う援助 第3節 創傷管理 第2節 与薬 <ul style="list-style-type: none"> 与薬法について (講義) 注射、静脈内注射、採血 点滴静脈注射、輸血 			食事に関する基礎的知識を理解すると共に、経管栄養に関する目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。 生体機能の観察方法としてのフィジカルアセスメントの目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。 褥瘡の発生要因や誘因、好発部位を理解し、褥瘡の予防方法を身につける。 診療や与薬法に関する基礎的知識を理解すると共に、各項目に関する目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。	
第4章 診療に伴う援助 第5節 救急救命処置 <ul style="list-style-type: none"> 救急法 第1章 看護の本質 <ul style="list-style-type: none"> 老人体験 第3章 日常生活の援助 第7節 身体の清潔 <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの抱き方・寝衣交換 第4章 診療に伴う援助 第1節 呼吸・循環・体温調整 <ul style="list-style-type: none"> 呼吸調整の方法 (吸入・吸引) 第2章 看護の共通技術 第1節 コミュニケーション			救急処置の意義と看護の役割を理解し、一次救命処置の方法や災害時の傷病者の手当ておよび移送の技術を身につける。 老人体験を通して高齢者の加齢現象について理解するとともに、対象の健康状態に応じた援助技術を身につける。 赤ちゃんの抱き方・寝衣交換の基礎的な技術を身につける。 診療や吸入・吸引法に関する基礎的知識を理解すると共に、各項目に関する目的・方法・注意事項について理解し、技術を身につける。 患者との人間関係を形成するコミュニケーションについて理解し、その技術を身につける。	

シラバス（看護科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・ 看護臨地実習	3年	10	基礎看護 (実教出版)	系統看護学講座基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ（医学書院） 看護診断の看護過程ガイド ゴードンの機能的健康パターンに基づく アセスメント（中央法規）看護診断ハンドブック（医学書院） パワーアップ問題演習基礎看護学（サイオ出版） 疾患別看護過程の展開（学研）
科目の概要 と目標	看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し、経験を通して看護観を育み、問題解決の能力を養うとともに、看護の実践力と態度を身につける。			
単元・学習内容			到達度目標	
小児看護・基礎看護Ⅰ臨地実習 ・小児の成長発達や生活行動の特徴の理解 ・日常生活の援助 [保育所（2単位）]			乳幼児の成長発達について理解する。 乳幼児の発育発達を考慮した日常生活の援助方法を理解する。	
基礎看護Ⅱ臨地実習 ・医療施設の機能と看護の役割 ・患者の理解 ・看護におけるコミュニケーション ・日常生活の援助 ・看護の展開 [病院（3単位）]			看護場面におけるコミュニケーションの重要性を実感し、患者の訴えをよく聞くことができる。 入院や疾病に伴う日常生活の変化を把握し、基本的欲求の充足状況に応じた日常生活援助ができる。 患者の訴えや徴候などの状態から、アセスメントし看護過程を展開する。	
成人看護臨地実習 [病院（3単位）]			患者の訴えや徴候などの状態から、アセスメントし看護過程を展開する。 患者が有する諸問題に対して、看護援助の一連の過程を体験することにより、問題解決の能力を養うとともに、臨床看護を行うために必要な能力と態度を身につける。	
老年看護臨地実習 [特別養護老人ホーム（2単位）]			高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、加齢に考慮した日常生活援助方法を理解する。	

シラバス (看護科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
看護・看護情報	2年	2	改訂版 高等学校 情報 I (数研出版)	改訂版 高等学校 情報 I 学習プリント (数研出版)
科目の概要と目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。また、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを旨とする。			
単元・学習内容		到達度目標		
オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの学習、経験等既習内容の調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了の方法、OSの基本操作について練習する。 ・ファイルの保存、読み込み、共有フォルダの利用方法について理解する。 ・コンピュータ教室の使い方を理解する。 		
第1編 情報社会の問題解決 1 情報とメディア 2 情報社会における法とセキュリティ 3 情報技術が社会に及ぼす影響		<ul style="list-style-type: none"> ・情報とは何か、また情報が価値をもつしくみについて理解させる。 ・様々な情報源の特性と信頼性、情報を検証することの重要性について理解させる。 ・メディアごとの表現方法や情報の伝わり方のちがいを理解させ、適切な表現を選択できるようにする。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・分析・解決する方法を理解させるとともに、目的や状況に応じて解決案を評価・改善する力を身に付けさせる。 		
第2編 コミュニケーションと情報デザイン 1 情報のデジタル表現 2 コミュニケーション手段の発展と特徴 3 情報デザイン		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルのちがいや、デジタル情報の特徴として、蓄積・編集・統合・圧縮・転送などの処理が容易にできることについて理解させる。 ・ビット列による情報の表現や2進法の計算方法、デジタル情報の量の扱いや負の数の表現など、デジタル化の基礎となる原理を体系的に理解させる。 ・文字、音、画像などのデジタル表現について、デジタル化のしくみ、解像度などの要素と、それらが表現の精度やデータ量に与える影響を理解させる。 ・デジタル情報の圧縮の原理と、可逆圧縮・非可逆圧縮のちがいや特徴を、具体例を通して理解させる。 ・通信の歴史を概観し、情報通信技術の発展によってコミュニケーション手段がどのように変化し、情報の流通量や範囲が拡大してきたかを理解させる。 ・メディアの性質を科学的に理解させるとともに、よりよいコミュニケーションのために、目的や状況に応じて適切な表現方法や情報機器・メディアを選択して活用する力を身に付けさせる。 ・情報デザインが人や社会に果たす役割を、具体的な事例も踏まえて理解させる。 ・年齢や障害の有無、言語や文化などに関わらず情報を伝えるためのデザインの考え方を理解させるとともに、抽象化・構造化・可視化の方法を身に付けさせる。 ・効果的なコミュニケーションを行うために、プレゼンテーションの企画、制作、実行、評価、改善の流れと、情報デザインに基づく表現方法を理解させ、プレゼンテーションの技能を身に付けさせる。 		
第3編 コンピュータとプログラミング 1 コンピュータのしくみ 2 プログラミング 3 モデル化とシミュレーション		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや外部装置、基本ソフトウェア (OS) などの基本的な構成と機能を理解させる。 ・基本的な論理回路や半加算回路・全加算回路、およびコンピュータ内部における情報の表現方法について理解させる。 ・コンピュータで扱える数値や情報には限界があることを理解させ、その特性を踏まえて適切に活用する態度を養う。 ・コンピュータを効率よく活用するために、問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解させるとともに、その技能を身に付けさせる。 ・プログラミング言語の実行のしくみやプログラミングの基本を理解させるとともに、プログラミングによってコンピュータを活用する方法を身に付けさせる。 ・アルゴリズムを考え、プログラミングを行う過程において、それらを評価し改善していく力を身に付けさせる。 ・モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解させるとともに、社会や自然などにおける事象をモデル化する方や、作成したモデルのシミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解させる。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを行い、その結果をふまえて問題を適切に解決する方法を考えさせる。 ・モデル化とシミュレーションを問題の発見や解決に役立てたり、その結果から問題の適切な解決方法を考えたり選択したりする力を身に付けさせる。 		
第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 1 ネットワークのしくみ 2 データベース 3 データの分析		<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な構成要素や通信方式、プロトコルの役割とともに、インターネットの主なサービスとそのしくみについて理解させる。 ・個人認証や暗号化など、通信の信頼性や情報セキュリティを確保するための方法やしくみ、必要性について理解させる。 ・安全で効率的な通信を行うために、目的や状況に応じて、情報セキュリティを確保する方法について考えさせ、情報通信ネットワークを適切に活用する態度を身に付けさせる。 ・情報システムにおけるデータの役割と、データベースの概念、データベース管理システム (DBMS) の機能、データ損失を防ぐしくみについて理解させる。 ・データベースを利用した情報システムが、収集したデータをもとにどのようにサービスを提供しているかを理解させるとともに、クラウドやビッグデータなど現代的な情報システムの特徴と役割について理解させる。 ・これらのサービスを自分の生活で効果的に活用する方法について考えさせる。 ・データの形式や種類、尺度水準など、データを表現・蓄積するための基礎的な知識と、データの収集・整理・分析に関わる基本的な方法について理解させる。 ・表計算ソフトウェアなどを用いて、データの整理、集計、可視化、分析を行うための基礎的な技能を身に付けさせる。 ・目的に応じて適切なデータの収集・整理・分析方法や、可視化の方法を選択し、結果を客観的に評価・改善する力を身に付けさせる。 		